

市内のできごとを写真入りでお知らせします

# まちのできごと

## アロハフェスタに 6000 人が来場

8月25日手賀沼公園多目的広場



8月25日(土)手賀沼公園多目的広場で、第2回アロハフェスタinアピコが行われました。

これは、市内にあるフラダンス団体の相互の交

流と、市民の皆さんにハワイアンを楽しんでもらうために開催したものです。当日は、市内・外のフラダンスチームによるステージ、プロの演奏・フラダンス、フェスタに向けて練習してきた子どもたちのフラダンス(写真左)やウクレレの演奏も披露され、約6000人の来場者で賑わいました。

## ベストスマイル賞は 柴崎台在住の都路里ちゃん

### 歯っピースマイルフォトコンテスト

アロハフェスタinアピコ(8月25日)のイベントの一つとして行われた、「歯っピースマイルフォトコンテスト」で、柴崎台在住の桃木都路里ちゃんが「ベスト歯っピースマイル賞(1位)」に輝きました。

このイベントは、健康的な歯や歯並びの素敵な笑顔の写真を募集し、市民が歯の健康づくりに関心を高めることを目的に行われました。応募者は42人。当日アロハフェスタに訪れた皆さんに投票していただきました。



▲最優秀の作品

◀表彰式

## 18歳から71歳まで 347人が出場

### 第2回手賀沼トライアスロン大会



8月26日(日)「第2回手賀沼トライアスロン大会(兼第2回柏市民・我孫子市民トライアスロン大会)」が行われ、スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの計51.5kmに、個人・リレーの部あわせて347人(18歳から71歳)が出場しました。当日、手賀沼の水温は29.6度と高いなか、全員が完泳しました。

## 全員 笑顔でゴール!

### 4泊5日徒歩の旅 ABIKO チャレンジ・ウォーク



つくば市から我孫子市までの約60kmの道のりを歩き通す、「ABIKOチャレンジ・ウォーク2007」が、8月22日(木)から26日(日)までの4泊5日の日程で行われました。

参加者は、小学5年生から中学2年生までの男女63人(女子5班、男子4班)。コース、宿泊場所、食事のメニューなどすべて自分たちで決めます。子どもたちは、炊事やテントでの宿泊、民家の軒先を借りての民泊など、日常ではなかなか味わえない経験を積みました。ゴール地点のアピスタでは、大勢の方が出迎えるなか、全員が笑顔で元気にゴールしました。

チャレンジ・ウォークは、自然体験、社会体験を通じて、子どもたちに自主性や協調性、忍耐力をつけるために歩く旅で、今回で3回目となります。

## スポーツ活動の活躍をたたえて

### 3人にスポーツ功労表彰

市では、スポーツ活動の推進と発展のため、スポーツの振興・発展に貢献した方と、全国大会で優勝などの成績を収めた個人・団体に対し、「スポーツ功労表彰」を行っています。

今年度は、次の3人の方が選ばれ、8月24日に今関教育長から記念品が贈られました。



◎高橋麻理子さん(写真右) …第4回全日本新体操ユースチャンピオンシップで個人総合で優勝

◎篠藤淳さん(写真中央) …第90回日本陸上競技選手権大会男子3000m障害で優勝

◎重田智絵美さん(写真左) …第61回国民体育大会兵庫大会水泳成年女子200mリレーで千葉県代表として優勝

☎ 教育委員会体育課 ☎7187-7555

## 文芸だより

### 短歌

榎原 敦子 選

日焼した若者の引く人力車浅草六区を走りゆきたり  
 【評】浅草六区は大正時代から大衆娯楽の中心地。今、若者が力強く次代へ走る。朝なさな《寒蟬集》を経のごと唱へ書写なしわが夏をはる  
 【評】夏は野外生活を楽しむばかりではない、心の旅をこそ、と言いたげな表情。アメリカの世界的干渉主義のせいならん殺人・泥棒・ワーキングプア増ゆ(新かな) 曲家の小暗きなかに杵き日の面ふり甘えし馬を憶へり  
 三本の管を入れたる心臓に生かされてをり八十二歳  
 わが猫は死に抗ひて重々と下がる眼を無理矢理あける  
 手賀沼の水面に耀う花火消え我が人生の疾きこと思う(新かな)  
 半ばにて向けたる背に光うけ花火帰りの風はもう秋

下田 繁樹  
 松本 守正  
 白杉 政幸  
 小林 光江  
 木村 梅  
 渡辺 詔子  
 平林 健次  
 大森 澄夫

皆さんからの投稿をお待ちしています。締め切りは、毎月20日必着。ハガキで1人1作に限ります。【青少年(18歳以下)の部】へ応募する方は、必ず年齢を明記してください。応募先 〒270-1192 市役所広報室(住所省略可)へ

夜の秋人の気配のやうな風 壁谷千鶴子  
 【評】晩夏の日はまだ暑い、夜になって、ふと風のたてたもの音に感じた秋。船先にて沼面裁ち行く秋初め 渋谷多佳子  
 朝顔や谷中の路地を狭くして 川上 進也  
 わだかまり解けず見上ぐる鱗雲 野口 コウ  
 青すすき風集めては散らしては 青山 陽子  
 ひと休みする鍬の柄に赤蜻蛉 谷口 正英  
 一本が蟬の木となり蟬時雨 松村 君代

### 俳句

染谷 卓 選  
 島崎 妙子 選(青少年の部)

【評】季語が二つと気づいた喬仁君。成長しましたね。暑い夏を頑張りました。西瓜食べ種を噴き出す猛暑の日 鈴木 喬仁(12歳)

短歌・俳句の18歳以下(小・中学生、高校生ほか)の投稿も大歓迎です!

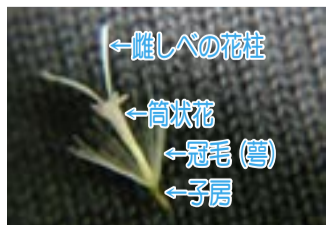


## あじこ植物図鑑

文・写真 佐久間俊行

No.241

### サワヒヨドリ (沢鴨) (きく科)



▲サワヒヨドリの一つの花  
 雌しべの花柱、筒状花、冠毛(萼)、子房が見える

八月に船戸地区を訪れると、茎の上部には細かい縮れ毛が密に生じています。台地の斜面のくさむらでサワヒヨドリが群生していました。この草は山野の日当たりのよい湿った場所に生える多年草で、サワヒヨドリの名は、沢でよく見かけることからつけられました。葉は三本の葉脈が目立ち、筒状花が五個ほど集まり、その周りを下部が緑色の総苞片が囲んでいました。筒状の花は先が五つに裂け、中から二つに分かれた雌しべの花柱が角のように長く突き出しています。また筒状花の周囲には冠毛と呼ばれる毛が多数とりまいていて、果実が熟すと、この毛を広げて風に乗り、果実を散布させます。